

8月収穫が可能な丹波黒大豆系エダマメの育成

現在、京都府では、『紫ずきん』という独自ブランドのエダマメの生産拡大を推進しています。しかしながら、エダマメの需要が最も強い8月に収穫できる、京都府独自の丹波黒大豆系エダマメ品種はありません。

そこで農業総合研究所では、8月収穫が可能な早生の丹波黒大豆系エダマメ品種を育成してきました。平成19年度は、「紫ずきん」に早生品種を交配した後代のF9世代と、「紫ずきん」に変異誘発のために放射線照射した後代のM7世代の形質を調査しました。その結果、エダマメとして8月に収穫でき、莢が大きく食味が比較的良好である丹波黒大豆の形質を受け継いだエダマメを4系統、育成することができました。今後、この4系統の中から、食味が良く栽培しやすい有望な系統を新品種候補として選抜していく計画です。



選抜した早生系エダマメの莢

左2莢は比較の対照品種、中4莢が育成系統の代表的なもの
右1莢が「紫ずきん」の莢（模型）